



■平成28年12月7日～12月22日、12月会議が開催されました。

山本議員の一般質問を通じて、議会活動報告をいたします。  
なお、委員会などのトピックスは、ホームページの「山本せいご議会だより」でご覧になれます。

## 山本せいごの一般質問（12月会議）

### 防災関係の取り組みについて

最近の災害発生は、地震災害をはじめ各災害が全国的にいたるところで頻繁に発生している。自然災害に対する防災・災害対策について、過去の質問の課題を含め全般質問する。

#### 災害対策について

**質問1:** 精華台小学校の北側斜面口が土砂災害指定区域となっている。ハード・ソフト面の対策は？

答弁: ①町内58か所の警戒区域いずれの箇所も、ハード対策は講じていない。  
②ソフト対策として、京都府から指定にかかる説明周知がされ、精華町は、指定地域を防災マップ上で公表するなど啓発している。  
また、適宜避難情報を発令する体制にある。  
③精華台小の関係者が情報把握できていないとの指摘に対しては、今後課題の共有を検討していく。

**質問3:** 2012年8月の局地的集中豪雨の初動体制の課題に対してどのような課題整理をしてきたか？

答弁: ①課題は2つあった。  
一つは、町と気象台との連携が十分でなかった。  
二つめは、100mmを超える雨量に対して、内水氾濫発生時の体制が十分でなかった。  
②対応策として、京都府や気象台とホットラインを設定し、突発的な気象の変化に対応できる体制とした。

**質問2:** 豪雨対策に対する、雨水路の取り組みの河川と今後改修の計画は？

答弁: ①九百石川1号雨水路(谷川)は山手幹線西側(南稻八妻地域)が平成28年度完成予定。  
29年度に上流部の工事予定。  
②2号雨水路(山川)は30年度より整備予定。  
現在近鉄による工事は28年度に完成予定。  
29年度にJR片町線、府道横断部の設計、30年度以降に工事予定。  
③堀池川は、区画整理事業の中で整備を検討している。



**質問4:** 下粕ポンプ場の排水ポンプの増設について、調整の進捗と設置の見通しは？

答弁: ①国土交通省と放流量の協議、理解を得た。  
②今後は、都市計画法と下水道法の手続きを進め、ポンプ増設の工事を実施していく予定。

### 避難時の高齢者・障害者 及び 情報弱者への支援について

**質問1:** 避難時に高齢者や障害者に対し、補助する体制はできているか、訓練時の課題は？

答弁: ①災害時要配慮者登録制度を活用し、台帳整理し自治会・自主防災会に提供している。  
名簿の活用についての確認作業はしていない。  
②自治会単位で自主的・主体的に避難訓練が行われるよう啓発・支援に努める。



**質問2:** 高齢者や障害者に避難を呼びかける時は事前周知が重要。自治会、地域住民と協議しているか、その協議結果と課題は？

答弁: ①大雨警報が予測されるとき、気象台より事前情報があるようになり、その事前情報により自治会・自主防災会に情報提供と避難所開設など連携をとることにしている。  
②避難勧告発令と同時にNHKや民放のテレビにテロップが流れるシステムになっている。

**質問3:** 情報端末を持たない情報弱者に対する情報伝達をどう考えているか？

答弁: ①広報車による周知、場合によっては個別に家を回って周知もしている。

# 議会だより (つづき 1)



## 自治会・自主防災会との連携について

**質問1:** 地域環境・災害形態に応じた防災マップの作成を自治会や自主防災会に推奨している。進捗状況は？

答弁: ①地域防災マップ作成に取り組んでいる自治会・防災会は4つにとどまり、進捗は十分でない。  
②昨年度、防災会長の勉強会で意識向上を図った。今年度はマルチハザード情報提供システムでマップ作成実習など啓発に努めている。

**質問3:** 避難通路を原則通学路としているが、特に旧地域の安全確認の調査を自治会や自主防災組織に調査依頼するとしていたが、その結果は？

答弁: ①町の防災訓練時に避難経路の確認をしている。昨年は、南稲八妻区の自主防災会の点検で避難経路の変更があった。

**質問2:** 自主防災会と対策本部設置時の連絡体制や情報の共有体制はできているか、また自主防災会の横の情報共有や連絡体制はできているか？

答弁: ①連絡体制や情報の共有は、前項質問2で答弁。  
②自主防災会相互の連携については、今後必要性が増すと考えられ課題ととらまえている。

**質問4:** 小学校区ごとの防災訓練は成果が上がり、課題等の検証はできたと認識するが町はどう評価しているか？

答弁: ①小学校区2巡目までは、町民の防災意識向上、3巡目から、自主的・主体的に地域の防災力向上を目的としている。  
③訓練の目的は徐々に達成されつつあると認識している。

## 防災関係の取り組みに対する提案

**提案1:** 通学路でありまた避難路の両側にある特に木造家屋の耐震改修が必要である。耐震診断を推奨するため、無料化または補助の増額を提案する。



答弁: ①耐震診断をする制度は、木造住宅の規模や構造に関わらず、1戸当たり53,000円の診断費用のうち3,000円を個人負担、残りの5万円を公費負担としている。  
②受益者の一定負担は必要と考えており、耐震診断の無料化や補助金の増額は考えていない。  
③通学路の耐震の課題の認識は持っている。

**提案2:** 東南海地震などの被害は全町域一斉に受けると想定され、町の体制も広範囲となる。そこで、全町域を想定した訓練を一斉・同時に実施し、検証していくことを提案する。

答弁: ①防災訓練は3巡目の途中にあり、引き続きすべての小学校区において、自治会、自主防災会の自主的、主体的な取り組みの充実を考えている。  
②現時点では、一斉訓練の実施は考えていない。各地域で自主的な運営できる体制づくりが先決と認識している。



- 防災マップ作成が遅れている。  
町内での作成事例、作成した団体とのグループディスカッションをすとか、研修回数を重ねるとか、の方法もある。実務者を含めた実効ある進め方をしていただきたい。
- 通学路の安全、避難路の安全からも住宅の耐震化の推進が求められる。  
耐震診断を入り口として耐震改修に努め、減災に全力を挙げていただきたい。

傍  
聴  
席

### ●行政と地域現場と温度差●

行政は、防災計画について、災害対応のマニュアル化は進んでいる。マニュアル通りである。一方で、地域を自主防災会にゆだね切り離している感が否めない。  
防災マップ作成が具体的に進まないなど、地域の自主防災会の思い、受け入れ、理解に対し、行政の意向や指導方法などとの温度差を感じる。  
(後援会会員)

### ●5月に町議会議員選挙:

#### 山本議員の再出馬を要請する●

議会質疑から、日常より個々の課題に対し真摯な取り組みがうかがえます。  
行政に対し、住民の目線で忌憚なく意見を述べまた是々非々に徹する態度は、私たちの期待に沿うものです。  
ぜひ再出馬してください。支援します。  
(H.M 記)

山本せいご後援会事務所

精華町大字南稲八妻小字門口71

TEL/FAX

Eメール  
ホームページ

0774-94-3301

seigo722@balloon.ne.jp

http://www.balloon.ne.jp/seigo722/